

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	国際学院埼玉短期大学
設置者名	学校法人国際学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部等 共通 科目	専門 科目	合計		
	幼児保育学科	夜・通信			8	8	7	
	健康栄養学科 食物栄養専攻	夜・通信			8	8	7	
	健康栄養学科 調理製菓専攻	夜・通信			8	8	7	
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学生向け web サイト（履修の手引き）及びホームページ https://sc.kgef.ac.jp/about/public/syllabus/

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	国際学院埼玉短期大学
設置者名	学校法人国際学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページで公表している。
<https://ch.kgef.ac.jp/disclosure>
 （令和8年度 役員（理事・監事・評議員）の名簿）

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元埼玉県副知事	（令和7年 6月25日 ～3年以内 に終了する 会計年度の うち最終の ものに関す る定時評議 員会の終結 の時まで）	・行政及び地域との連携する業務 ・常勤理事と連携した地域ニーズの把握及び連携に関する業務 ・常勤理事と連携したパブリシティ等、広報活動の推進・指導に関する業務
非常勤	弁護士	（令和7年 6月25日 ～3年以内 に終了する 会計年度の うち最終の ものに関す る定時評議 員会の終結 の時まで）	・この法人に係る訴訟、その他法務全般に係る指導に関する業務 ・契約業務の指導に関する業務 ・常勤理事と連携したハラスメント撲滅に向けた指導に関する業務 ・常勤理事と連携した危機管理に関する業務
（備考）			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	国際学院埼玉短期大学
設置者名	学校法人国際学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 各科目担当が「シラバス作成要領(本学指定)」に基づき、 1. ディプロマ・ポリシーに基づいて重点的に身につける学修成果 2. 授業の概要 3. 授業の到達目標 4. 成績評価の方法 5. テキスト 6. 参考図書 7. 授業時間外学習 8. 課題に対するフィードバック等 9. 各回の授業計画(テーマ、学習内容、オムニバスの場合は当該回担当教員名など) を記載した授業計画を作成し、教務課等が内容を確認した上で、学生向けWEBサイト及びホームページに掲載し、年度初めに公表している。	
授業計画書の公表方法	学生向けwebサイト及びホームページ https://sc.kgef.ac.jp/about/public/syllabus/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) シラバスに掲載している成績評価の方法に基づき、筆記試験、口頭試験、観察記録、実技試験、レポート、小テスト等を全体で100点となるように総合評価し、60点以上を合格として単位認定している。また、卒業研究ゼミを卒業必修科目として位置付け、2年間の学修成果を厳格かつ適正に評価している。さらに、開講期ごとに、教授会において科目ごとの単位認定の状況を確認するとともに、成績調査制度を導入し、学生が自身の評価に疑問がある場合は申し出ることにより、成績評価の妥当性について調査・確認を行い、必要に応じて修正するなど、成績評価の透明性を高めている。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 試験等による学修の評価は、S、A、B、C、Dで表し、S、A、B、Cを合格とし単位を認定する。 グレードポイントの設定においては、Sを4点、Aを3点、Bを2点、Cを1点、D及び受験資格喪失を0点で評価し、GPAは、「履修科目の単位数」×「グレードポイント」の合計を「履修登録科目の単位数の合計」で除して算出している。また、GPA制度並びにGPA算出方法を履修の手引きに記載し公表している。 さらに、上記により算出したGPAの分布状況を学科会議、教務委員会、教授会等に報告・確認し、学生指導（新旧判定等）に活用している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	学生向け web サイト及びホームページ https://sc.kgef.ac.jp/about/public/standard/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 「卒業認定・学位授与の方針」(学科)、「課程修了認定の方針」(専攻科)を学科・専攻課程及び専攻科ごとに定め公表している。 「卒業認定・学位授与の方針」(学科)、「課程修了認定の方針」(専攻科)は3つの方針の一つとしてホームページ、履修の手引き及び学生便覧に掲載し、公表している。 また、「卒業認定・学位授与の方針」(学科)、「課程修了認定の方針」(専攻科)に基づき、卒業・修了の判定を教授会で行っている。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	学生便覧、学生向け web サイト及びホームページ https://sc.kgef.ac.jp/about/policy/

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	国際学院埼玉短期大学
設置者名	学校法人国際学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ(令和7年度計算書類及び付属明細書) https://ch.kgef.ac.jp/disclosure
収支計算書又は損益計算書	ホームページ(令和7年度計算書類及び付属明細書) https://ch.kgef.ac.jp/disclosure
財産目録	ホームページ(令和7年度計算書類及び付属明細書) https://ch.kgef.ac.jp/disclosure
事業報告書	ホームページ(令和7年度事業報告書及び付属明細書) https://ch.kgef.ac.jp/disclosure
監事による監査報告(書)	ホームページ(令和7年度監査報告書) https://ch.kgef.ac.jp/disclosure

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: 令和8年度事業計画 対象年度: 令和8年度)
公表方法: ホームページ https://ch.kgef.ac.jp/disclosure
中長期計画(名称: 第VI期中期計画 対象年度: 2025~2030)
公表方法: ホームページ https://ch.kgef.ac.jp/disclosure

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: ホームページに平成24年度以降の自己点検・評価報告書を掲載している。 https://sc.kgef.ac.jp/information/evaluation/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: ホームページに令和元年度適格認定の受審結果を掲載している。 https://sc.kgef.ac.jp/about/evaluation/
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 幼児保育学科
教育研究上の目的（公表方法：学則に定め、ホームページで公表） https://sc.kgef.ac.jp/about/public/
（概要） 幼児保育者としての一般的教養と専門的な知識と技能を教授研究し、その応用的能力を伸ばすと共に人格の完成に努め、社会に有為な幼児保育者を養成し、実際生活に対応し得る社会人を育成すること。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：ホームページ等で公表） https://sc.kgef.ac.jp/about/policy/#diploma_policy
（概要） 建学の精神に基づき、豊かな教養と、教育・保育に関する専門的知識・技能、問題解決能力、規範意識・倫理観、社会的責任、学びに向かう力、それらを活用・適用して課題を解決する能力を修得したと認められる者に卒業を認定し、短期大学士（教育学）を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ等で公表） https://sc.kgef.ac.jp/about/policy/#curriculum_policy
（概要） 建学の精神に基づき、豊かな教養と、教育・保育に関する専門的知識・技能、問題解決能力、規範意識・倫理観、社会的責任、学びに向かう力、それらを活用・適用して課題を解決する能力を修得するために、教養科目と専門科目を連携させ、カリキュラムを体系的に編成・実施・評価する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページ・募集要項等で公表） https://sc.kgef.ac.jp/about/policy/#admission_policy
（概要） 建学の精神に基づき、豊かな教養と、教育・保育に関する専門的知識・技能、問題解決能力、規範意識・倫理観、社会的責任、学びに向かう力、それらを活用・適用して課題を解決する能力を修得し、保育士・幼稚園教諭・保育教諭を目指す人を求める。

学部等名	健康栄養学科
教育研究上の目的（公表方法：学則に定め、ホームページで公表） https://sc.kgef.ac.jp/about/public/	
（概要） 専門職業人としての一般的教養と専門的な知識と技能を教授研究し、知識基盤社会に求められている社会人基礎力を身につけた短期大学士（栄養学／調理学）である栄養士・調理師を養成し、实际生活に対応し得る社会人を育成すること。	
卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページ等で公表） https://sc.kgef.ac.jp/about/policy/#diploma_policy	
（概要） 建学の精神に基づき、豊かな教養と、栄養（食物栄養専攻）並びに調理（調理製菓専攻）に関する専門的知識・技能、問題解決能力、規範意識・倫理観、社会的責任、学びに向かう力、それらを活用・適用して課題を解決する能力を修得したと認められる者に卒業を認定し、短期大学士（栄養学）・短期大学士（調理学）を授与する。	
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ等で公表） https://sc.kgef.ac.jp/about/policy/#curriculum_policy	
（概要） 建学の精神に基づき、豊かな教養と、栄養（食物栄養専攻）並びに調理（調理製菓専攻）に関する専門的知識・技能、問題解決能力、規範意識・倫理観、社会的責任、学びに向かう力、それらを活用・適用して課題を解決する能力を修得するために、教養科目と専門科目を連携させ、カリキュラムを体系的に編成・実施・評価する。	
入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページ・募集要項等で公表） https://sc.kgef.ac.jp/about/policy/#admission_policy	
（概要） 建学の精神に基づき、豊かな教養と、栄養（食物栄養専攻）並びに調理（調理製菓専攻）に関する専門的知識・技能、問題解決能力、規範意識・倫理観、社会的責任、学びに向かう力、それらを活用・適用して課題を解決する能力を修得し、栄養士・管理栄養士・栄養教諭（食物栄養専攻）、並びに調理師・専門調理師（調理製菓専攻）を目指す人を求める。	

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページで公表している。 https://sc.kgef.ac.jp/about/public/
--

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	1 人	－					1 人
幼児保育学科	－	4 人	2 人	4 人	0 人	0 人	10 人
健康栄養学科	－	6 人	2 人	4 人	1 人	2 人	15 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0 人		29 人					29 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：https://sc.kgef.ac.jp/about/public/					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
「本学の DP を日々の教育活動でその成果・効果を明らかにするか」「Teams 等の ICT ツールの授業活用」 「IR データから課題を読み取り学生にフィードバックする」 等							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
幼児保育学科	80 人	47 人	58.8%	200 人	104 人	52.0%	0 人	0 人
健康栄養学科	120 人	48 人	40.0%	240 人	106 人	44.2%	0 人	0 人
合計	200 人	95 人	47.5%	440 人	210 人	47.7%	0 人	0 人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
幼児保育学科	45 人 (100%)	0 人 (0%)	44 人 (97.8%)	1 人 (2.2%)
健康栄養学科	54 人 (100%)	0 人 (0%)	49 人 (90.7%)	5 人 (9.3%)
合計	99 人 (100%)	0 人 (0%)	93 人 (93.9%)	6 人 (6.1%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
幼児保育学科：幼稚園、認定こども園、保育所、児童養護施設				
健康栄養学科：給食委託会社、病院、ホテル、レストラン、福祉施設				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
幼児保育学科	54 人 (100%)	42 人 (77.8%)	1 人 (1.9%)	12 人 (22.2%)	0 人 (0%)
健康栄養学科	70 人 (100%)	54 人 (77.1%)	2 人 (2.9%)	14 人 (20.0%)	0 人 (0%)
合計	124 人 (100%)	96 人 (77.4%)	3 人 (2.4%)	26 人 (21.0%)	0 人 (0%)
（備考）令和 6 年度入学生対象					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要） 学則（教育課程表）に記した授業科目、授業の方法等に基づき、各科目担当者が「シラバス作成要領（本学指定）」に照らして、授業計画を作成している。
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要） 建学の精神に基づき、豊かな教養と、専門的知識・技能、問題解決能力、規範意識・倫理観、社会的責任、学びに向かう力、それらを活用・適用して課題を解決する能力を修得したと認められる者に卒業を認定している。				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	G P A 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	幼児保育学科	62 単位	⑦・無	50 単位
	健康栄養学科	62 単位	⑦・無	46 単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
G P A の活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページで公表している https://sc.kgef.ac.jp/about/public/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
	幼児保育学科	760,000 円	300,000 円	270,000 円	実験実習料、施設費
	健康栄養学科	760,000 円	300,000 円	330,000 円	実験実習料、施設費
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） 授業を受ける学生の質問・相談等に対しては、可能な限り対応することとしているが、学生の便宜を更に図るため、各教員があらかじめ対応可能な時間帯（オフィスアワー）を定め、学生向け web サイトに公表している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要） 就職活動（就活）のための求人情報の提供をはじめとして、①担任との面談②学生支援センターでの相談③求人検索システムや就活 Web サイトの活用を行っており、専門職へ就職のため、進路希望調査、各種キャリア講習会（キャリア教育の授業）を実施している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） 学生が健全で充実した学生生活を送るために医務室を設置し、看護師を原則、常駐している。また、校医およびカウンセラーに相談できる環境を整えている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページで公表している。 https://sc.kgef.ac.jp/about/public/ 備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。
